

富山高等専門学校		開講年度	平成31年度 (2019年度)		授業科目	総合英語Ⅱ	
科目基礎情報							
科目番号	0036		科目区分		一般 / 選択		
授業形態	授業		単位の種別と単位数		履修単位: 3		
開設学科	商船学科		対象学年		2		
開設期	通年		週時間数		3		
教科書/教材	New Discovery2 Newsbreak 2018エミール出版						
担当教員	金川 欣二						
到達目標							
英検準2級レベルの英文を滑らかに音読できる。 英検準2級レベルの英文を読んで理解できる。 100語程度の英語を覚えて、自分の言葉で90秒スピーチができる。							
ルーブリック							
		理想的な到達レベルの目安		標準的な到達レベルの目安		未到達レベルの目安	
評価項目1		英検準2級レベルの英文を滑らかに音読できる。		辞書を見ずに、英文が読める。		読めない単語が多くて、なめらい読めない。	
評価項目2		英検準2級レベルの英文を読んで理解できる。		文章全体をだいたい理解できる。		何の文章かわからず、辞書に頼ってしまう。	
評価項目3		100語程度の英語を覚えて、自分の言葉で90秒スピーチができる。		対面などの状況で英語を使って自分の気持ちを伝える。		他人の前で、英語が出てこない。	
学科の到達目標項目との関係							
教育方法等							
概要		コミュニケーション能力を身につけるために、基本的な語彙や表現を定着させ、概要把握できるレベルまでの英語運用能力を身に付けさせる。 多くの英文を読んで英語に親しむ。					
授業の進め方・方法		演習形式。による 予習が大前提。全体の説明があり、単語の説明、発音をしてから読解。一人ひとりが和訳して、問題を解いていく。練習問題では板書して、正解かどうかみんなでチェックする。					
注意点		評価が60点に満たない者は、願い出により追認試験を受けることができる。追認試験の結果、単位の修得が認められた者にあっては、その評価を60点とする。評価方法及び評価基準は本試験と同じとする。					
授業計画							
		週	授業内容		週ごとの到達目標		
前期	1stQ	1週	オリエンテーション		英語と日本語の違いについて		
		2週	Lesson1		内容把握 スモールトーク		
		3週	Lesson1		文法理解 音読テスト		
		4週	Lesson2		内容把握 スモールトーク		
		5週	Lesson2		文法理解 音読テスト		
		6週	Lesson3		内容把握 スモールトーク		
		7週	Lesson3		文法理解 音読テスト		
		8週	Lesson4		内容把握 スモールトーク		
	2ndQ	9週	中間考査		既習事項の定着を図る		
		10週	Lesson5		内容把握 スモールトーク		
		11週	Lesson5		文法理解 音読テスト		
		12週	Lesson6		内容把握 スモールトーク		
		13週	Lesson6		文法理解 音読テスト		
		14週	Lesson7		内容把握 スモールトーク		
		15週	期末試験		既習事項の定着を図る		
		16週	Lesson7		文法理解 音読テスト		
後期	3rdQ	1週	Lesson8		内容把握 スモールトーク		
		2週	Lesson8		文法理解 音読テスト		
		3週	Lesson9		内容把握 スモールトーク		
		4週	Lesson9		文法理解 音読テスト		
		5週	Lesson10		内容把握 スモールトーク		
		6週	Lesson10		文法理解 音読テスト		

		7週	Lesson11	内容把握 スモールトーク
		8週	Lesson11	文法理解 音読テスト
	4thQ	9週	中間試験	既習事項の定着を図る
		10週	Lesson12	内容把握 スモールトーク
		11週	Lesson13	文法理解 音読テスト
		12週	Lesson14	内容把握 スモールトーク
		13週	Lesson14	文法理解 音読テスト
		14週	Lesson15	内容把握 スモールトーク
		15週	期末試験	既習事項の定着を図る
		16週	Lesson15	文法理解 音読テスト

モデルコアカリキュラムの学習内容と到達目標

分類		分野	学習内容	学習内容の到達目標	到達レベル	授業週
基礎的能力	人文・社会科学	英語	英語運用の基礎となる知識	聞き手に伝わるよう、句・文における基本的なリズムやイントネーション、音のつながりに配慮して、音読あるいは発話できる。	3	
				明瞭で聞き手に伝わるような発話ができるよう、英語の発音・アクセントの規則を習得して適切に運用できる。	3	
				中学で既習の語彙の定着を図り、高等学校学習指導要領に準じた新出語彙、及び専門教育に必要な英語専門用語を習得して適切な運用ができる。	3	
				中学で既習の文法や文構造に加え、高等学校学習指導要領に準じた文法や文構造を習得して適切に運用できる。	3	
			英語運用能力の基礎固め	日常生活や身近な話題に関して、毎分100語程度の速度ではっきりとした発音で話された内容から必要な情報を聞きとることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を基本的な表現を用いて英語で話すことができる。	3	
				説明や物語などの文章を毎分100語程度の速度で聞き手に伝わるように音読ができる。	3	
				平易な英語で書かれた文章を読み、その概要を把握し必要な情報を読み取ることができる。	3	
				日常生活や身近な話題に関して、自分の意見や感想を整理し、100語程度のまとまりのある文章を英語で書くことができる。	3	

評価割合

	試験	発表	相互評価	態度	ポートフォリオ	その他	合計
総合評価割合	60	20	0	10	10	0	100
基礎的能力	40	10	0	10	10	0	70
専門的能力	20	10	0	0	0	0	30
分野横断的能力	0	0	0	0	0	0	0